



川口けいすけのグリーンス川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介
〒350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会議員控え室
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

79
 SINCE 2003

12月議会川口の一般質問より

子どもの貧困と児童虐待への取り組みについて

※ 詳細は議会報告会にて

増え続ける児童虐待相談

平成29年度、全国210所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は、13万3778件で、過去最多、川越市内でも平成27年度から314件、319件、391件と右肩上がりに増えている現状があります。しかし、虐待児本人からの相談はほとんどなく、今回、SNSを使ったこども相談を提言しました。

児童虐待の要因

児童虐待の要因は、身体的・精神的・社会的・経済的等の要因が複雑に絡み合っており、起こると考えられています。具体的には、望まぬ妊娠、被虐待経験、マタニティブルーやうつ病等、何らかの育てにくさを持っている子ども、未婚や単身家庭、内縁者等がいる家庭、経済不安のある家庭などです。

	生活困窮層	一般層	比率
子どもに行き過ぎた体罰を与えた	11.4%	6.5%	約1.8倍
ネグレクト(育児放棄)	4.3%	0.7%	約6倍
我が子を虐待していると悩んだ	18.2%	9.2%	約2倍

出典「東京都子供の生活実態調査(平成28年度)」より

その中でも、貧困と虐待には強い関連性が指摘されています。特にネグレクト(育

児放棄)の事例ではこの傾向が顕著に見られるとされています。私は強い関連性を認めながら対応を考えるべきと指摘しましたが、市は、あくまで貧困は複数ある要因の一つとのスタンスでした。

※ これらの要因を多く有しているからといって、必ずしも虐待につながるわけではありません。

子どもの貧困対策は児童虐待の防止につながる!

これはおかしい!

市では、ひとり親家庭や生活困窮者への学習支援事業を行っていますが、学習支援の希望者はさらに多く、事業の拡大が望まれています。ところが、なんと実施場所の確保が事業拡大のハードルになっていました。公的施設は、原則的に抽選で部屋の貸出をしており、これらの事業も対象となっていたことから、私は、これらの事業は貧困の連鎖を断ち切るためにも非常に重要であり、例外扱いにしても市民の理解は得られると訴えましたが、市長は慎重に検討するとの答弁でした。

主任児童委員と連携協力を!

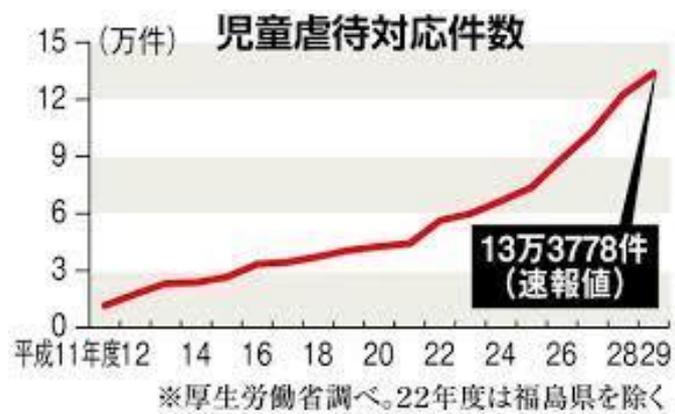
地域児童福祉の担い手であり、虐待の早期発見にも寄与できる主任児童委員ですが、行政は多くの委員と連携・協力の実績がほとんどなく、行政との連携・協力関係が不十分で早期の改善が必要と訴えました。市も、更なる連携をとる必要があるとの考えを示しました。

市議会トピックス

川越市議会のハラスメント根絶に関する決議を全会一致で可決!

議員倫理条例策定会議を設置!

まず、今年度中のハラスメント根絶に特化した条例策定を目指しています。



児童虐待の要因と割合

家庭状況	家庭状況		合わせて見られる状況	
	件数	割合 (%)	1位	2位
一人親家庭	460	31.8	経済的困難	孤立
経済的困難	446	30.8	一人親家庭	孤立
孤立	341	23.6	経済的困難	一人親家庭
夫婦間不和	295	20.4	経済的困難	孤立
育児疲れ	261	18.1	経済的困難	一人親家庭

出典) 東京と福祉保健局「児童虐待の実態Ⅱ」2005より